

マーフィーの最強FX投資法

スーパーボリンジャー

大局観の把握と売買の判断（エントリー、
エグジットの把握に活用しよう！！

スーパーボリンジャーとは

「ボリンジャーバンド」に「遅行スパン」を加えたツール

■構成要素

- 1) センターライン(21単位単純移動平均線)
- 2) $\pm 1\sigma$ ライン(1標準偏差、68.3%)
- 3) $\pm 2\sigma$ ライン(2標準偏差、95.5%)
- 4) $\pm 3\sigma$ ライン(3標準偏差、99.7%)
- 5) 遅行スパン(21単位)

■価格と各 σ ラインとの位置関係によって、どの程度の割合の市場参加者が勝ち、もしくは負けているかが分かる

■各 σ ラインは市場全体の損益分布ラインとなる

スーパーボリンジャー、4つの判断ツール

1) 遅行スパン

ローソク足との位置関係をチェック

⇒ 陽転(買い優勢)、陰転(売り優勢)、絡み(レンジ)の確認

2) $+1$ ・ -1 σ ライン

ローソク足終値との位置関係をチェック

⇒ トレンド局面、調整局面、レンジ局面判断の分岐点

3) $+2$ ・ -2 σ ライン

ローソク足終値との位置関係をチェック

⇒ トレンド局面入りの最終確認

4) バンド幅

バンド幅の拡大、収縮具合をチェック

⇒ トレンド局面、調整局面の確認

「遅行スパン」

■「遅行スパン」とは終値を過去に戻した点を結んだラインのこと

「21遅行スパン」⇒ スーパーボリンジャー

「26遅行スパン」⇒ スパンモデル

■「遅行スパン」を活用することで、さまざまな相場分析が可能

「遅行スパンを征する者は、相場を征する」

■「遅行スパン」の判断基準（相場の方向性を判断）

(1) 上昇相場 遅行スパンがローソク足の上方に位置

(2) 下降相場 遅行スパンがローソク足の下方に位置

(3) レンジ相場 遅行スパンがローソク足に絡む位置

■「遅行スパン」で時間リズムを把握することが可能

相場の5つの局面

相場は**上昇、下降、レンジ**の3局面から成る

トレンド、調整を含めると、**5つの局面**に分類

1) 上昇トレンド相場(トレンド局面、上昇バイアス)

2) 下降トレンド相場(トレンド局面、下降バイアス)

3) 調整の戻り上昇相場(調整局面、上昇バイアス)

4) 調整の反落下降相場(調整局面、下降バイアス)

5) レンジ相場、保ち合い相場(調整局面)

⇒判断には「**スーパーボリンジャー**」が有効

「スーパーボリンジャー」の判断方法

■トレンド開始

- 1) 上昇トレンド相場開始のサイン
- 2) 下降トレンド相場開始のサイン

■トレンド終了(調整局面開始)

- 3) 調整の戻り上昇相場開始のサイン(上記(2)の終了)
- 4) 調整の反落下降相場開始のサイン(上記(1)の終了)

■レンジ相場

- 5) 調整局面からトレンド相場開始までの間の局面

トレンド開始の判断基準

上昇トレンド開始のサイン

- 1) 遅行スパンの陽転
- 2) ローソク足終値が+1 σ ラインを上回る
- 3) バンド幅の拡大
- 4) 直前の相場が小動きであることが望ましい
- 5) ローソク足終値が+2 σ ラインを上回る(最終確認)

上昇トレンド継続の条件

- 1) 遅行スパンの陽転継続
- 2) ローソク足終値が+1 σ ラインを上回り続ける

トレンド開始の判断基準

下降トレンド開始のサイン

- 1) 遅行スパンの陰転
- 2) ローソク足終値が -1σ ラインを下回る
- 3) バンド幅の拡大
- 4) 直前の相場が小動きであることが望ましい
- 5) ローソク足終値が -2σ ラインを下回る(最終確認)

下降トレンド継続の条件

- 1) 遅行スパンの陰転継続
- 2) ローソク足終値が -1σ ラインを下回り続ける

トレンド終了の判断基準

調整の反落下降開始のサイン

- 1) ローソク足終値が+1 σ ラインを下回る
- 2) バンド幅の拡大傾向が止まり、縮小傾向へ
- 3) +3 σ ラインの方向が下向く
- 4) 調整ターゲットは、センターラインから-2 σ ライン
(遅行スパンが陰転しない限り、上昇基調の途上における調整局面と判断する)

トレンド終了の判断基準

調整の戻り上昇開始のサイン

- 1) ローソク足終値が -1σ ラインを上回る
- 2) バンド幅の拡大傾向が止まり、縮小傾向へ
- 3) -3σ ラインの方向が上向く
- 4) 調整ターゲットは、センターラインから $+2\sigma$ ライン
(遅行スパンが陽転しない限り、下落基調の途上における調整局面と判断する)

レンジ相場の判断基準(スーパーボリンジャー)

レンジ相場のサイン

- ・遅行スパンがローソク足に絡んで推移
- ・バンド幅収束傾向が続く
- ・レンジターゲットは、
 - +2 σ ラインから-2 σ ライン(値幅を伴ったレンジ相場)
 - +1 σ ラインから-1 σ ライン(小動きのレンジ相場)
- ・レンジ相場は、トレンド相場の前の準備構成期間でもある
- ・レンジトレーディング(逆張り)を行うか、トレードを休む

スパンモデル

スパンモデルと、スパンモデルシグナル
を駆使して、究極の売買を行おう！！

主に**売買の判断**に活用したいツール

「スパンモデル」の3つのスパンとスパンモデルシグナル

1) 青色スパン(短期トレンド)

実勢レベルローソク足との位置関係、青色スパンの向き

2) 遅行スパン(中期トレンド)

ローソク足との位置関係(短期の陽転、陰転、絡み)

ゾーン(赤色スパン)との位置関係(長期の陽転、陰転)

3) 赤色スパン(長期トレンド)

赤色スパンの向きで判断(上昇方向、下落方向)

■スパンモデルシグナル(単純な売買シグナルではない)

買いシグナル ⇒ 青色スパンが上、赤色スパンが下

売りシグナル ⇒ 赤色スパンが上、青色スパンが下

「スパンモデルシグナル」の本質

1) 「シグナル」点灯時は、相場の「変化時間帯」

「シグナル」点灯するタイミングは、相場が「変化」

(1) 相場の動きが加速する

(2) 相場の方向が転換する

タイミングであることを示す

2) 「順行」と「逆行」

相場の動きが加速する ⇒ 「順行」

相場の方向が転換する場合 ⇒ 「逆行」

「スパンモデルシグナル」の見方

1)「順行」

順行とは、買いシグナル点灯後、即、上昇していく、
売りシグナル点灯後、即、下落していく指標のこと。

非常に勢いのあるトレンド相場にて発生する確率が高い

2)「逆行」

逆行とは、買いシグナル点灯時に、一旦、高値圏となり、
売りシグナル点灯時に、一旦、安値圏となること。

レンジ相場にて発生する確率が高い

トレンド相場の初期段階で発生するケースもあり

「スパンモデルシグナル」の見方・活用法(まとめ)

- スパンモデルシグナル点灯時は「**変化時間帯**」を示す
- 相場の変化には、「**転換**」(**逆行**)と「**加速**」(**順行**)がある
 - 転換 = 逆行 ⇒ 方向が逆転する
 - 加速 = 順行 ⇒ 同一のトレンド方向に動きが加速
- スパンモデルシグナル点灯時は、全て、一旦は「**転換**」と見なす
売買の際、 $\pm 2\sigma$ ラインを参考ラインとする
- シグナル点灯後の動きを見て、「**逆行**」から「**順行**」への判断を下す
(5本程度の推移をチェック。
5分足や1分足については、7本程度が許容範囲)
- トレード戦略
 - 「**逆行**」を利用した「**頭と尻尾(天底)**を取りにいくトレード」
 - 「**順行**」を利用した「**胴体(トレンド)**を取りにいくトレード」

「スパンモデルシグナル」の判断方法(要点、急所)

■ 買いシグナル点灯時

- 1) ローソク足終値がゾーンの上に位置していれば売り(逆行)
- 2) ローソク足終値がゾーンの下に位置していれば買い(順行)

■ 売りシグナル点灯時

- 3) ローソク足終値がゾーンの下に位置していれば買い(逆行)
- 4) ローソク足終値がゾーンの上に位置していれば売り(順行)

★要するに、シグナル点灯時に、終値がゾーンの上方に位置すれば売り、
終値がゾーンの下方に位置すれば買いのサイン、となる。

★青色スパンと赤色スパンが交差するタイミングでシグナル点灯となるが、
青色スパンと赤色スパンの価格が同一となる時点で転換と見なす。

<注意喚起>

当社の取扱う店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生の可能性があります。さらに、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)や為替レートの変動等によって注文(ロスカット注文を含む)が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)においては通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。取引におけるお客様のコストは、手数料とスプレッドとなります。手数料は、LION FX・Hirose-FX2では無料、Hirose-FX2ミニでは1Lotあたり往復で30円です。スプレッドは、売りレートと買いレートの差のことで、通常は売りレートより買いレートの方が高くなります。また、流動性が低ければ、スプレッドが大きく広がる場合があります。LION FXの法人のお客様以外の必要証拠金(取引において最低限必要である資金)は、想定元本(為替レート×取引数量)×4%以上の額となり、レバレッジは、想定元本÷必要証拠金で算出されますので最大25倍となります。LION FXの法人のお客様の必要証拠金は、想定元本(為替レート×取引数量)×0.5%以上の額となり、レバレッジは、想定元本÷必要証拠金で算出されますので最大200倍となります。店頭バイナリーオプション取引「LION BO」は、判定時刻の為替レートが、当社の設定した最大7本の権利行使価格から、お客様が選択された権利行使価格よりも、上昇するか下降するかを予想するヨーロピアンタイプのラダーバイナリーオプション取引です。最大損失額は、オプションの取得対価の全額となります。取引単位は1ロット(1ロット当たりの価格は0～1,000円)、1回の取引あたりの最大取引単位は50ロットとなります。手数料は無料です。オプションの購入後において、取引をキャンセルすることはできません。購入したオプションを取引可能期間前に清算(売却)をすることはできます。但し、購入価格と清算価格にはスプレッドがあり、清算時に損失を被る可能性があります。「LION BO」は投資額に比べて大きな利益を得る可能性がある反面、投資元本の保証はなく、お客様にとって為替レートが不利な方向に変動することにより投資元本の全てを失う可能性のあるリスクが高い金融商品です。当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引および店頭バイナリーオプション取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なります。さらに、店頭外国為替証拠金取引においては、複数の商品を取り扱っており、取引要綱や各項目の名称が異なります。お客様におかれましては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号:ヒロセ通商株式会社

業務内容:第一種金融商品取引業

登録番号:近畿財務局長(金商)第41号

加入協会:金融先物取引業協会会員番号1562